



反原発運動が盛り上がっています。これで脱原発社会をつくることができるのか？そんなに簡単なものではありません。過去をみると、JCO、アメリカスリーマイル、チェルノブイリと、事故のたびに世論が味方したが、いつの間にか収束、もとのまま。今度こそは！

生憎の悪天候によりシュプレヒコールは遮られるも、被災地の方の思いは私の胸に真っ直ぐ突き刺さりました。なんとなく愛郷を離れる後ろめたさを自ら「裏切り」と称す心は、このの発端に目を向ける「きっかけ」を与えるものだと感じました。

9.18札幌参加 大山格臣くん



雨のなかの
9.18札幌集会行進

やめるべ大間原発!

10月29日(土)、函館市千代台公園において、対岸の大間原発建設の中止を求め、全道から集まった仲間を含め千人の参加を予定して、「やめるべ大間原発!北海道大集会」が開催されます。

木古内町を含むここ道南は、大間原発が稼働したのち福島のような万一の事故が起こった場合、猛毒のプルトニウムが降り注ぎ、一瞬にして多くの人命が奪われるとともに、生き残った者も数年以内に死亡するのでは、とされています。

このような危険な大間原発を完成させるわけにはいきません。

集会を成功させマスコミや函館市民などを通じ大きな世論喚起を呼び起こすため、執行部や青年女性部役員のみでなく、多くの組合員の参加をお願いします。

と き 10月29日(土) 13時～ ※集会1時間、デモ行進1時間程度
ところ 函館市 千代台公園
※デモ＝千代台→電車通り→行啓通り→高砂通り→千代台

◆詳細はウラ面を参照して下さい。

集会を終えて感じたことは、原発事故による放射能が体にもたらす影響の恐ろしさや、放射能により故郷での生活が出来ない苦しみや悲しみを講話を通して改めて知ることのできたよい機会になりました。講話のあと行われた脱原発運動は雨が降って大変でしたが、脱原発への思いが皆さんに伝わったのではないのかといます。今回の集会に参加できとてもよかったです。

9.18札幌参加 吉田匠くん



さようなら原発1000万人
アクションin東京大集会

全体的には有意義であったのですが参加した人に若い人が少なかった。放射性物質による健康被害は、若い人たちこそ深刻であるはずなのに、あまり関心が少ないように思われました。デモ行進でも原宿駅の前を通ったのですが、物珍しそうに見る人はいても関心を持ってきてはいなかったです。きちんとコールをリードできる人・活動家を細かく配置して、行進に参加した人が、もっと声を出しやすい行進を考えていければいいのでは？野外ライブなどでは、どんな若者でも声を出してるのだから、雰囲気次第ではないでしょうか？

9.19東京集会参加 加藤崇誠くん

原発事故により失われた生活、放射線の影響により故郷を離れ新たな生活を送っている事実を再確認しました。いつ故郷に帰れるかわからない不安、また故郷を離れる思い、不慣れな土地での生活、すべてが原発事故によって失われるというのを知ることができました。今までは原発について正直無関心なところもありましたが、今回の講話や青森県の大間原発のことを考えると無関心ではいられないと、改めて考え直すよい機会になったと思います。9.18札幌参加 敦澤裕也くん

「さようなら原発 1000 万人アクション連鎖集会」

やめるべ、大間原発

10.29 北海道集会

10.29(土) 13:00~

千代台運動公園広場集合

集会終了後、デモ行進を行います!!



SAY IT LOUD!! (高らかに叫ぶ!!)
NO MORE NUKES!! (原発反対!!)

この集会は、大間原発の建設中止、さらにすべての原子力発電のできる限り早期の停止と原発のない安全な社会の実現を求め行動するものです。

3.11 東日本大震災により生じた福島原発事故、いまだ収束の兆しが見えない中で、泊原発の営業運転再開が決定するなど状況は遅滞し脱原発の方向には向いていません。

函館市民の多くも大間原発の危険性については不安を感じています。こんな時こそ、一人ひとりの思いを伝え合い、脱原発の声を函館市民に大きくひろげていきましょう!!

脱原発・持続可能
エネルギーで
平和な社会を
めざそう!!

13:00~13:45 集会

14:00~ デモ行進



週末の五稜郭を、
ぜひ私たちと一緒に歩きませんか?

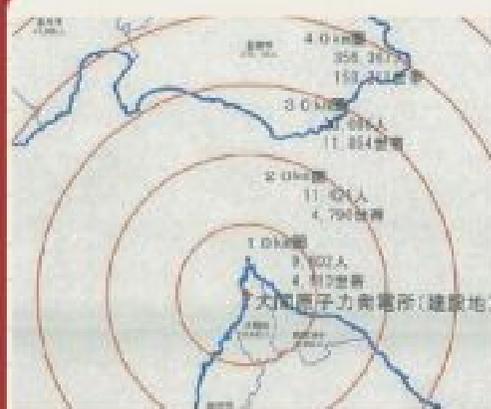
主催: 北海道平和運動フォーラム

道南地域平和運動フォーラム

「脱原発・クリーンエネルギー」市民の会

お問い合わせ先 0138-26-1112

大間原発建設中止・脱原発 社会の実現をもとめよう

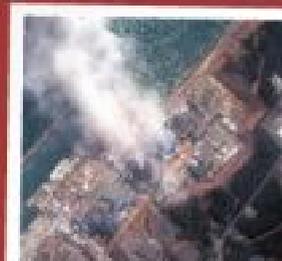


建設中の大間原発。近くには民家が広がっている。今回の大震災のような事故が起きることは想定しているのだろうか?

大間から函館まで たったの30km!	“世界初”の フルMOX 原発	自然エネルギーへの 転換を
現在建設中の大間原子力発電所から函館中心地までの直線距離は約30km。最端では約23km。	大間原発は完成すれば、世界で初めての炉心の全ての領域にMOX燃料を使う「フル・MOX」の原子力発電所となります。	環境可能な「自然エネルギー」へ切り替える運動を促進しよう。
海を渡った青森なので遠く感じる大間町は、予想以上に函館に近いのです!!	もし、今回のような事故が起きたら、福島以上の悪影響を函館を含む周辺住民に与えることは確実なのです!!	・太陽光発電 ・水力発電 ・風力発電 ・波力発電 ・地熱発電 など
原子力発電が 函館市内にできることと同じことなのです!!	函館を含む周辺住民に与えることは確実なのです!!	このほかにも太陽熱発電やバイオマス発電など、実用化に向けた研究が進んでいます。



大間港からは五稜郭タワーがはっきりと見えるくらい近い距離なのです。



福島と同じ事態になった時、大間や函館はどうなるのだろうか。



環境にやさしい「自然エネルギー」への転換が急務です。

道南地域平和運動フォーラム 函館市新川町2-16 TEL0138-26-1112